

PCL-5 (PTSD Checklist for DSM-5)について

◆ はじめに

PTSD Checklist (PCL) は PTSD (DSM-IV) の診断基準に対応した質問項目で構成される自己記入式の質問紙であり、PCL-5 はその DSM-5 対応版です。PCL-5 を用いることで、PTSD 症状 (DSM-5) の程度を測定することができます。原版 (英語) は米国の National Center for PTSD の研究チームによって開発されており [参考文献 1・5]、日本語版は国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センターの研究チームによって翻訳されています [参考文献 3]。

◆ 想定される用途

1) PTSD 症状のモニタリング、2) PTSD のスクリーニング、3) PTSD 診断に関する補助的評価、などに使うことができます。

◆ 実施法

PCL-5 は、PTSD (DSM-5) の診断基準に対応した **20** の質問項目で構成される自己記入式の質問紙です。回答者には、回答者の PTSD にもっとも影響を与えた心的外傷的出来事を念頭においてもらった上で、**直近 (過去) 1 か月間**において、各質問項目で尋ねられている PTSD 症状にどの程度悩まされたかを **5 件法** (0:全くない ~ 4:非常に) で回答してもらいます。おおむね **5~10 分**で実施できます。なお、対象期間は、直近 (過去) 1 か月間を想定して開発されていますが、目的に応じて変更して用いられることがあります。たとえば、治療中の PTSD 症状のモニタリングに用いるのであれば、直近 (過去) 1 週間に変更することが適切かもしれません。

◆ 採点法

1) 合計点数、2) 症状クラスター別点数、3) PTSD 疑いか否か、を算出・判定することができます。

1) 合計点数

全 20 項目の点数をすべて足し合わせることで、合計点数が算出できます (レンジ: 0-80)。この点数は、PTSD 症状の重症度を反映していると考えられ、点数が高いほど、重症であると解釈します。

2) 症状クラスター別点数

PCL-5 は PTSD (DSM-5) の診断基準に対応しているため、診断基準 B~E の症状クラスターごとに足し合わせることで、症状クラスター別に点数を算出することもできます。基準 B (再体験) は PCL-5 の項目 1~5 (レンジ: 0-20)、基準 C (回避) は項目 6・7 (レンジ: 0-8)、基準 D (認知・気分の陰性変化) は項目 8~14 (レンジ: 0-28)、基準 E (過覚醒・反応性亢進) は項目 15-20 (レンジ: 0-24) に対応しています。

3) PTSD 疑いか否か

次の 2 つの方法で、「PTSD 疑い」の判定を行うことができます；

① 原版の使用ガイド[参考文献 5 付記]によると、合計点数（レンジ：0-80）が 31～33 点以上である場合に、「PTSD 疑い」と判定することができます[参考文献 2]。ただし、こうしたカットオフ値は使用目的や対象者に応じて決定されるべきである点、日本語版については未検討である点に注意が必要です。

② PTSD（DSM-5）の診断アルゴリズムに従って、項目 1～5（再体験）から 1 つ以上、項目 6・7（回避）から 1 つ以上、項目 8～14（認知・気分の陰性変化）から 2 つ以上、項目 15～20（過覚醒・反応性亢進）から 1 つ以上について、それぞれ「2（中程度）」以上の回答がなされていた場合に、「PTSD 疑い」と判定することができます。

◆ 解釈

1) 臨床的に意味のある変化

原版・日本語版ともにまだ確定的な知見は示されていませんが、原版の使用ガイド[参考文献 5 付記]によると、PCL-5 に関する新たな知見が提供されるまでは、PCL（DSM-IV 版）で示された知見を暫定的に参考にすると良いとされています。

※ PCL（DSM-IV 版）で示された知見：5 点を治療反応があったとする変化の閾値、10 点を临床上意義のある変化が生じたとする閾値と考えると良いとする知見が示されています[参考文献 4]。

2) 重症度のレンジ

原版・日本語版ともに、実証研究に基づく重症度のレンジは示されていません。

● 使用手続き

PCL-5 は National Center for PTSD で作成され、著作権フリーです。資格のある医療保健従事者は無料で使用できます。

◆ 日本語版について

PCL-5 日本語版は、National Center for PTSD の許諾を得て、逆翻訳の手続きを用いて翻訳されました（翻訳者：伊藤正哉、堀越勝、鈴木友理子）。健常者・精神疾患患者を含む 4,927 名を対象としたオンライン調査において、その信頼性および妥当性（併存的妥当性、因子構造）が検討されています[参考文献 3]。結果の概要は以下の通りです；

信頼性

Cronbach の信頼性係数は $\alpha = .078-0.97$ （合計得点および 7 因子の各因子得点）で、平均回答間隔 5.8 日間の再検査信頼性は $r = .60-.72$ （合計得点および 7 因子の各因子得点）でした。

併存的妥当性

PCL-S および Impact of Event Scale-Revised（IES-R）との相関はそれぞれ、 $r = .89, .86$ でした。

※ PCL-S は PCL（DSM-IV 版）の一種で、トラウマ体験を特定して尋ねるバージョンを指します。

因子構造

確証的因子分析の結果、DSM-5 の 4 因子構造も十分に支持されましたが、7 因子構造がもっとも適合度が高いという結果でした。同様の結果は、原版を用いた先行研究でも複数報告されています。なお、7 因子は次の通りです：①再体験（項目 1～5）、②回避（項目 6・7）、③ネガティブ情動（項目 8～11）、④アンヘドニア（項目 12～14）、⑤外在化行動（項目 15・16）、⑥不安に伴う覚醒（項目 17・18）、⑦不快に伴う覚醒（項目 19・20）

◆ 参考文献等

1. Blevins, C.A., Weathers, F.W., Davis, M.T., Witte, T.K., & Domino, J.L. (2015). The Posttraumatic Stress Disorder Checklist for DSM-5 (PCL-5): Development and initial psychometric evaluation. *Journal of Traumatic Stress, 28*, 489-498. doi:10.1002/jts.22059. 【PCL-5 原版（英語）の心理測定学的特性を検証した最初の論文】
2. Bovin, M. J., Marx, B. P., Weathers, F. W., Gallagher, M. W., Rodriguez, P., Schnurr, P. P., & Keane, T. M. (2016). Psychometric properties of the PTSD Checklist for Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders-Fifth Edition (PCL-5) in veterans. *Psychological assessment, 28*(11), 1379-1391. <https://doi.org/10.1037/pas0000254> 【PCL-5 原版（英語）のカットオフ値を検証した論文】
3. Ito, M., Takebayashi, Y., Suzuki, Y., & Horikoshi, M. (2019). Posttraumatic stress disorder checklist for DSM-5: Psychometric properties in a Japanese population. *Journal of Affective Disorders, 247*, 11-19. DOI: 10.1016/j.jad.2018.12.086. 【PCL-5 日本語版の心理測定学的特性を検証した最初の論文】
4. Monson, C. M., Gradus, J. L., Young-Xu, Y., Schnurr, P. P., Price, J. L., & Schumm, J. A. (2008). Change in posttraumatic stress disorder symptoms: do clinicians and patients agree? *Psychological assessment, 20*(2), 131-138. <https://doi.org/10.1037/1040-3590.20.2.131> 【PCL (DSM-IV 版) における臨床的に意味のある変化について検討した論文】
5. Weathers, F.W., Litz, B.T., Keane, T.M., Palmieri, P.A., Marx, B.P., & Schnurr, P.P. (2013). The PTSD Checklist for DSM-5 (PCL-5). Scale available from the National Center for PTSD at www.ptsd.va.gov. 【PCL-5 原版（英語）】

※ 使用ガイド：<https://www.ptsd.va.gov/professional/assessment/documents/using-PCL5.pdf>